

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	4 - 20 - 037
地域資源名	夏秋トマト、飛騨の夏ほうれん草、宿難かぼちゃ、高山ラーメン	認定日	平成21年2月23日
地域	高山市、飛騨市、下呂市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、可児市、郡上市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、白川村	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名:「夏秋トマト」「夏ほうれん草」「宿難かぼちゃ」を練りこんだ「高山ラーメン」飛騨高原野菜シリーズの製造販売事業

会社名:有限会社麺の清水屋

所在地:岐阜県飛騨市神岡町殿877

連絡先:TEL:0578-82-0145

H P : <http://www.hidamen.com/>

FAX:0578-82-6145

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、創業60年になる製麺業者として通常の製麺だけでなく、地酒(日本酒)を練り込んだラーメンを開発販売するなど、以前からアイデア商品を展開してきた。
- ・これまで培ってきた技術を活用し、飛騨地方の代表的な「夏秋トマト」、「夏ほうれん草」、「宿難かぼちゃ」を麺に練り込んだ飛騨高原野菜シリーズの高山ラーメンを開発。
- ・従来の高山ラーメンの特徴を活かしながら飛騨高原野菜が持つ風味が加わり、こだわりを持った新しいコンセプトの商品として首都圏、中京圏、関西圏を中心に販路の拡大を目指している。



【今夏、発売した「つけ麺」の広告チラシ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・品質の高い野菜の選定や小麦、水、塩、かんすい等の原料にこだわりを持ち、配合や使用する機械を含めた製法等にも工夫を凝らしている。

市場性

- ・ご当地ラーメンへの根強い人気や、健康志向の消費者に対して、従来にない野菜の風味を持った色彩豊かな本商品は、市場への訴求性を有している。
- また、品質や安全性にもこだわりを持っている。

販路

- ・道の駅や地元観光地の土産店、インターネット等による通信販売によって拡販を図っていくとともに、各種展示会等を通じて高級スーパーや百貨店等に対して販路を拡大していく。

地域における関係事業者等との連携

- ・地元野菜生産者と連携を図っているほか、岐阜県製麺組合(飛騨支部)の会員として各種事業に参加している。



【飛騨高原野菜】

上から「夏秋トマト」、「夏ほうれん草」、「宿難かぼちゃ」

